

家でゆったり、楽しく 生活できるのが一番！



自宅のアトリエ（子どもさんの作品の前）で

（泰三さんは、）東北芸術工科大学（情報デザイン学科映像コース）に就職し、週3日の勤務でしたので、初めの頃は東京に住んで山形に通っていました。そして、山形では、東京で借りられないような広いところを借りて、アトリエにしようと思いました。大学の近くにガレージ付きの広い一軒家を借り、アトリエとして使い始め、10年くらいは東京と山形を行ったり来たりという生活でしたが、東京に住んでいた妻（多恵さん）も何度か山形に来るうちに、広くてゆったりとしたところで、2人の趣味である立体作品づくりができる山形のほうが居心地がよくなり、東京は時々行くところになりました。

子どもができたのをきっかけに、ゆったり、のびのびと子育てができる、環境のよい山形を拠点にしよう決めました。当時借りていた家はかなり古く、雪の重さで軒が落ちてきたことがあり、これを機に仕事場付きの広い住宅を探し始めました。

「蔵王みはらしの丘」を訪れたとき、ピンと来たのです。広くてゆったりとしていて、景色もよく、周りの家を見ると住むだけの家ではなく、庭があり、皆さん趣味のある暮らしを楽しみながら、ゆったりと生活していて、自分がやりたいことがしやすいところだと感じ、ここに家を建てよう決めました。

「蔵王みはらしの丘」に移り住んで2年になりますが、蔵王連峰の眺めや山形市街地の夜景を見ることができ、のんびりとゆったりしていて、とても静かなこの場所は、窮屈な都会ではできないことがあるのではないかと思えます。

趣味の作品づくりもそうですが、（多恵さんが今やっている）造形教室もその1つだと思います。山形市立みはらしの丘小学校の教室を借りて、月2回子どもたちに教えています。きっかけは、近所のお母さんから「子どもにものづくりを教えてください。」という一言でした。今は育児でゆっくり作品づくりが

松村 泰三さん（青森県出身）

多恵さん（兵庫県出身）

2005年 東京 山形市「蔵王みはらしの丘」へ移住
趣味のある暮らしを楽しんでいます。

できないため、これまで美術を通してもらってきたものを、他の人にも返してあげるのもいいなあと思います。造形教室を始めることにしました。作ることは、美的感覚だけでなく、手の器用さや作り方を考えたり、素材に振れたり、と、すごく大事なことが詰まっています。

そして、何より子どもが一番良かったのではないかと思います。以前住んでいたところは、公園が遠いので車で行ったり、友達が近所にいなかったりというところでした。しかし、ここでは周りに同じくらいの子どもの多いのでいつも一緒に遊べるし、家の前には庭があるので、公園まで行かなくても土いじりをしたりして遊ぶこともでき、家の中から子どもの様子が見え、目が届くということは理想的だと思います。

東京に住んでいるときは、家は寝るだけのところでしたが、ここに住んでからは家にいる時間が長くなりました。家にいて、子どもが遊びながら、親も自分の好きなことをするというように、自分の時間が持てるようになり、家が楽しくなりました。

今年から「みはらしガルテン」(市民農園)を借りてじゃがいもや枝豆を栽培したり、ウッドデッキでバーベキューをしたり、散歩に出かけたりと、ここに住んでからは地域に目を向けるようにもなりました。

今は、アトリエで作品を作ったり、庭いじりをしたり、自分の趣味や好きなことをやって、家でゆったり、楽しく生活できるのが一番だと思います。



泰三さんの立体作品



自宅の前で
(庭で栽培中のとうもろこしです。)